

2026/01/21  
JAしまね営農指導員アンビション大会

# 益々伸びる益田メロン！

JAしまね西いわみ地区本部  
営農経済部指導販売課 鳥山正博



# メロン栽培の始まり





昭和53年



現在

# アムスメロン・アールスメロンの導入



園芸植物育種研究所



# 立体栽培の確立



栽培当初は主枝1本に2果つけていたが、小玉になってしまうことから平成5年頃から、2本2果取りを導入。



\* 農薬の使用の前には必ず表示ラベルを確認しましょう

区	適用病害虫	農薬名	RAC	SP/PP/PP	濃度	使用時期	使用回数	備考	3日以内(濃物用)以上の農薬有効と安全使用基準	
育苗期	スズメバチ	ダブニール1000	F.M5	1B	700~1,000ppm	収穫3日前まで	4回以内	予防	有効性あり、浸透移行性なし。	○ 1000ppm、前日まで、合計4回以内
	うどんこ病	ダブニール1000	F.M5	1B	700ppm	収穫3日前まで	4回以内	予防	有効性あり、浸透移行性なし。	○ 1000ppm、前日まで、合計4回以内
	アブラムシ類・ハダニ類	マツシロ乳剤	F.1B	1B	1,000~3,000ppm	収穫前日まで	3回以内	予防	速効的に防除効果を示す。浸透移行性あり、有効性は高い。	○ 1000~3000ppm、前日まで、3回以内
	アブラムシ類・コナジラミ類	ベストガード乳剤	F.1A	4B	1g/株	育苗期	1回以内	予防	浸透移行性、有効性がある。	○ 1000ppm、前日まで、3回以内
定植時	ネキリムシ類	ナマキック乳剤	F.1B	1B	15~20kg/10a	定植時	1回以内	予防	散布は均一に、濃縮は十分に行う。	○ 1000ppm、前日まで、合計4回以内
	ネキリムシ類・コガネムシ類幼虫	ダイアジン粒剤	F.1B	2B	4~8g/10a	定植後または定植時	2回以内	予防	全面土壌処理または作物土壌処理とする。作物土壌処理または作物土壌処理とする。作物土壌処理または作物土壌処理とする。	○ 1000ppm、前日まで、合計4回以内
交配前まで	黒点病・うどんこ病	リソレックス水和剤	F.14	1B	800ppm	定植時	1回以内	予防	3リットル/㎡を散布し、予防的に作用する。使用回数は定植時1回以内、生育時1回以内。	○ 1000ppm、前日まで、合計4回以内
	スズメバチ	ダブニール1000	F.M5	1B	700~1,000ppm	収穫3日前まで	4回以内	予防	有効性あり、浸透移行性なし。	○ 1000ppm、前日まで、合計4回以内
	うどんこ病	ダブニール1000	F.M5	1B	700ppm	収穫3日前まで	4回以内	予防	有効性あり、浸透移行性なし。	○ 1000ppm、前日まで、合計4回以内
	うどんこ病	ピシロクフロアブル	F.1U7	1B	1,000ppm	収穫前日まで	3回以内	予防	浸透移行性あり、ローテーションに最適。	○ 1000ppm、前日まで、合計4回以内
生育後半7日まで	アブラムシ類・コナジラミ類・アザミウマ類・ハダニ類	モベトフアンプル	F.23	1B	2,000ppm	収穫前日まで	3回以内	予防	液汁被害虫に優れた効果あり。効果は速効的。	○ 1000ppm、前日まで、合計4回以内
	アブラムシ類	マツシロ乳剤	F.1B	1B	1,000ppm	収穫3日前まで	2回以内	予防	浸透移行性あり、高温時効果不安定。	○ 1000ppm、前日まで、合計4回以内
	アブラムシ類	マツシロ乳剤	F.1B	1B	1,000ppm	収穫3日前まで	2回以内	予防	浸透移行性あり、高温時効果不安定。	○ 1000ppm、前日まで、合計4回以内
	アブラムシ類	マツシロ乳剤	F.1B	1B	1,000ppm	収穫3日前まで	2回以内	予防	浸透移行性あり、高温時効果不安定。	○ 1000ppm、前日まで、合計4回以内
生育後半3日まで	うどんこ病	ピシロクフロアブル	F.1U7	1B	1,000ppm	収穫前日まで	3回以内	予防	浸透移行性あり、ローテーションに最適。	○ 1000ppm、前日まで、合計4回以内
	うどんこ病	ダブニール1000	F.M5	1B	700~1,000ppm	収穫3日前まで	4回以内	予防	有効性あり、浸透移行性なし。	○ 1000ppm、前日まで、合計4回以内
	うどんこ病	ダブニール1000	F.M5	1B	700ppm	収穫3日前まで	4回以内	予防	有効性あり、浸透移行性なし。	○ 1000ppm、前日まで、合計4回以内
	黒点病・うどんこ病	ロブラール水和剤	F.2	1B	1,000ppm	収穫前日まで	4回以内	予防	有効性がある。浸透移行性なし。	○ 1000ppm、14日前まで、合計4回以内
	アブラムシ類	モスビラン粒剤水和剤	F.1A	1B	8,000ppm	収穫3日前まで	3回以内	予防	速効性、浸透移行性、有効性あり。幼虫期や高温時の使用は薬剤に濃縮をまじせるおそれあり。	○ 2000~4000ppm、前日まで、合計3回以内
	アブラムシ類・コナジラミ類・アザミウマ類	アファーム乳剤	F.1B	2B	2,000ppm	収穫前日まで	2回以内	予防	速効性、有効性は1週間程度。	○ 2000ppm、前日まで、合計3回以内
	スズメバチ	ダブニール1000	F.M5	1B	700~1,000ppm	収穫3日前まで	4回以内	予防	有効性あり、浸透移行性なし。	○ 1000ppm、前日まで、合計4回以内
	うどんこ病	ダブニール1000	F.M5	1B	700ppm	収穫3日前まで	4回以内	予防	有効性あり、浸透移行性なし。	○ 1000ppm、前日まで、合計4回以内
	うどんこ病	ダブニール1000	F.M5	1B	700ppm	収穫3日前まで	4回以内	予防	有効性あり、浸透移行性なし。	○ 1000ppm、前日まで、合計4回以内
	うどんこ病	ダブニール1000	F.M5	1B	700ppm	収穫3日前まで	4回以内	予防	有効性あり、浸透移行性なし。	○ 1000ppm、前日まで、合計4回以内
	うどんこ病	ダブニール1000	F.M5	1B	700ppm	収穫3日前まで	4回以内	予防	有効性あり、浸透移行性なし。	○ 1000ppm、前日まで、合計4回以内
	生育後半30日まで	うどんこ病	ダブニール1000	F.M5	1B	700~1,000ppm	収穫3日前まで	4回以内	予防	有効性あり、浸透移行性なし。
うどんこ病		ダブニール1000	F.M5	1B	700ppm	収穫3日前まで	4回以内	予防	有効性あり、浸透移行性なし。	○ 1000ppm、前日まで、合計4回以内
うどんこ病		ダブニール1000	F.M5	1B	700ppm	収穫3日前まで	4回以内	予防	有効性あり、浸透移行性なし。	○ 1000ppm、前日まで、合計4回以内
うどんこ病		ダブニール1000	F.M5	1B	700ppm	収穫3日前まで	4回以内	予防	有効性あり、浸透移行性なし。	○ 1000ppm、前日まで、合計4回以内
うどんこ病		ダブニール1000	F.M5	1B	700ppm	収穫3日前まで	4回以内	予防	有効性あり、浸透移行性なし。	○ 1000ppm、前日まで、合計4回以内
うどんこ病		ダブニール1000	F.M5	1B	700ppm	収穫3日前まで	4回以内	予防	有効性あり、浸透移行性なし。	○ 1000ppm、前日まで、合計4回以内
うどんこ病		ダブニール1000	F.M5	1B	700ppm	収穫3日前まで	4回以内	予防	有効性あり、浸透移行性なし。	○ 1000ppm、前日まで、合計4回以内
うどんこ病		ダブニール1000	F.M5	1B	700ppm	収穫3日前まで	4回以内	予防	有効性あり、浸透移行性なし。	○ 1000ppm、前日まで、合計4回以内
うどんこ病		ダブニール1000	F.M5	1B	700ppm	収穫3日前まで	4回以内	予防	有効性あり、浸透移行性なし。	○ 1000ppm、前日まで、合計4回以内
うどんこ病		ダブニール1000	F.M5	1B	700ppm	収穫3日前まで	4回以内	予防	有効性あり、浸透移行性なし。	○ 1000ppm、前日まで、合計4回以内
うどんこ病		ダブニール1000	F.M5	1B	700ppm	収穫3日前まで	4回以内	予防	有効性あり、浸透移行性なし。	○ 1000ppm、前日まで、合計4回以内
うどんこ病		ダブニール1000	F.M5	1B	700ppm	収穫3日前まで	4回以内	予防	有効性あり、浸透移行性なし。	○ 1000ppm、前日まで、合計4回以内
45日以降	うどんこ病	ダブニール1000	F.M5	1B	700~1,000ppm	収穫3日前まで	4回以内	予防	有効性あり、浸透移行性なし。	○ 1000ppm、前日まで、合計4回以内
	うどんこ病	ダブニール1000	F.M5	1B	700ppm	収穫3日前まで	4回以内	予防	有効性あり、浸透移行性なし。	○ 1000ppm、前日まで、合計4回以内
	うどんこ病	ダブニール1000	F.M5	1B	700ppm	収穫3日前まで	4回以内	予防	有効性あり、浸透移行性なし。	○ 1000ppm、前日まで、合計4回以内
	うどんこ病	ダブニール1000	F.M5	1B	700ppm	収穫3日前まで	4回以内	予防	有効性あり、浸透移行性なし。	○ 1000ppm、前日まで、合計4回以内
	うどんこ病	ダブニール1000	F.M5	1B	700ppm	収穫3日前まで	4回以内	予防	有効性あり、浸透移行性なし。	○ 1000ppm、前日まで、合計4回以内
	うどんこ病	ダブニール1000	F.M5	1B	700ppm	収穫3日前まで	4回以内	予防	有効性あり、浸透移行性なし。	○ 1000ppm、前日まで、合計4回以内
	うどんこ病	ダブニール1000	F.M5	1B	700ppm	収穫3日前まで	4回以内	予防	有効性あり、浸透移行性なし。	○ 1000ppm、前日まで、合計4回以内
	うどんこ病	ダブニール1000	F.M5	1B	700ppm	収穫3日前まで	4回以内	予防	有効性あり、浸透移行性なし。	○ 1000ppm、前日まで、合計4回以内
	うどんこ病	ダブニール1000	F.M5	1B	700ppm	収穫3日前まで	4回以内	予防	有効性あり、浸透移行性なし。	○ 1000ppm、前日まで、合計4回以内
	うどんこ病	ダブニール1000	F.M5	1B	700ppm	収穫3日前まで	4回以内	予防	有効性あり、浸透移行性なし。	○ 1000ppm、前日まで、合計4回以内
	うどんこ病	ダブニール1000	F.M5	1B	700ppm	収穫3日前まで	4回以内	予防	有効性あり、浸透移行性なし。	○ 1000ppm、前日まで、合計4回以内
	うどんこ病	ダブニール1000	F.M5	1B	700ppm	収穫3日前まで	4回以内	予防	有効性あり、浸透移行性なし。	○ 1000ppm、前日まで、合計4回以内



# 令和7年産メロン情報

NO. 2

令和7年4月1日

西部農林水産振興センター益田事務所農業部



## 警告



### コナジラミ発生注意

飯田地域のアムスほ場にてタバココナジラミの発生を確認しました  
下記の方法を参考に対策を徹底してください

#### □ 侵入防止（入れない）

- ・開口部に防虫ネットを展張する（高温注意）
- ・黄色粘着板を設置
- ・ほ場周辺の除草

#### □ 薬剤による防除（増やさない）

薬剤検定にて効果が高かった薬剤

- ・トランスフォームフロアブル（ミツバチへの影響：10日）
- ・ディアナSC（ミツバチへの影響：3日）
- ・グレーシア乳剤（ミツバチへの影響：1日）

#### 気門封鎖剤（発生初期に高い効果あり）

- ・サファイール乳剤（卵、幼虫、成虫に効果あり）
- ・フーモン（幼虫、成虫に効果あり）

※使用前には必ずラベルを確認してください  
※同系統の薬剤を繰り返し散布しないようにしてください



※同一薬剤の連用は避け、系統の異なる剤をローテーションで散布するようにしましょう。  
\* うり類(濃物用)または濃物用メロンとして登録のある土壌消毒薬剤(「クロルピクリン」、「D-D」)  
\* うり類(濃物用)または濃物用メロンとして登録のない土壌消毒薬剤(「ソイリールン」、「バスマド微粒剤」)

## 研修会による技術向上



毎年、種苗メーカーをお招きし、現地研修会の開催

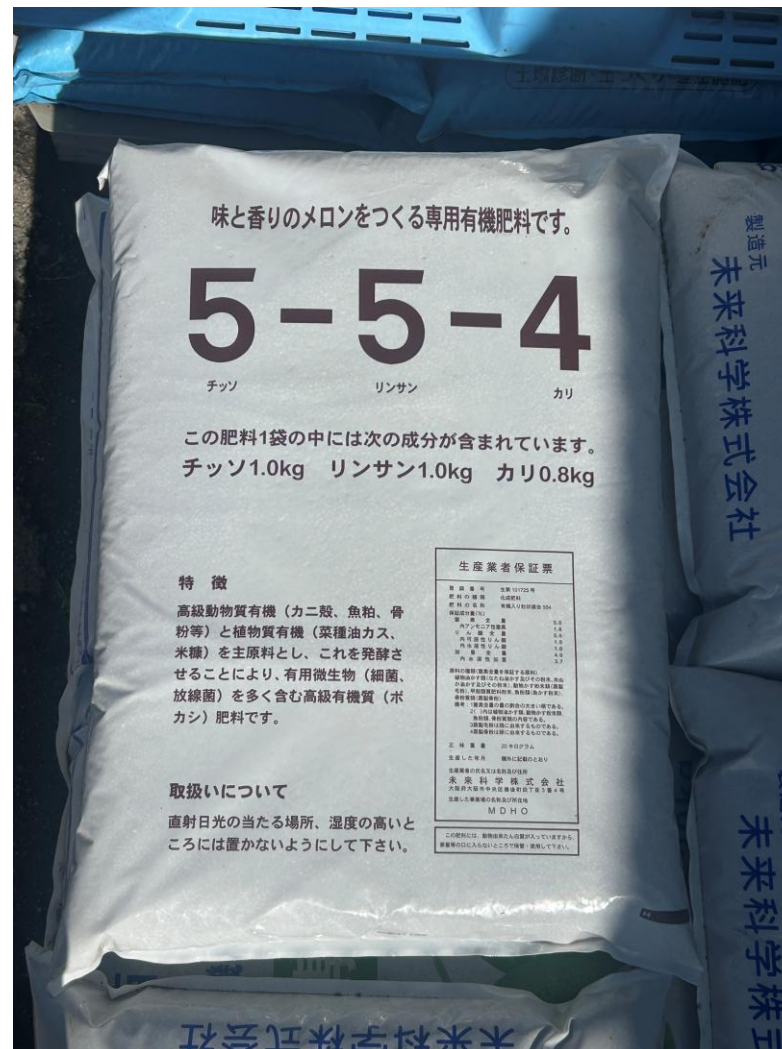


先進地視察研修



女性部視察研修

# 収益性の向上



益田メロンのための肥料「メロン専用肥料」を開発

## 部会員同士での情報の共有



部会員同士で栽培技術の共有を行うなど、産地を盛り上げるための努力を続けている  
また、出荷前には部会員相互で食味や糖度検査を行うことで「益田メロン」ブランドを保持する

# 食育・出前事業の実施



## アムスメロン実績推移

年 度	人 数	面 積	出荷数量		販売金額	反当り販売価格	ケース単価
			(Kg)	(ケース)			
R7年実績	51	1,038.2	367,780	73,556	241,211,916	2,323,440	3,279
R6年実績	54	1,061.7	369,250	73,850	242,421,947	2,283,338	3,283
R5年実績	53	1,047.5	382,800	76,560	246,267,098	2,351,066	3,217
R4年実績	55	1,033.2	366,335	73,267	239,702,514	2,319,934	3,272
R3年実績	59	1,095.6	372,665	74,533	227,372,756	2,075,326	3,051
R2年実績	62	1,136.6	351,565	70,313	203,912,219	1,794,054	2,900
R1年実績	64	1,133.2	375,480	75,096	205,472,377	1,813,173	2,736

JAしまね益田メロン部会産地育成ビジョン

スローガン「益々伸びる益田メロン！」

〇産地戦略（ビジョンを達成するため）

戦略項目			取組事項	具体的取組内容	令和5年活動実績
部会活動・担い手対策強化	◇栽培面積の維持・確保	・栽培面積の維持・確保	・新たなハウス畑地検討（リースハウス導入）、施設更新 ・助成金事業等の提案 ・企業参入	・産地生産基盤パワーアップ、ハウス等整備事業を活用した農業用ハウスの新設（5件）	
		・GAP（生産工程管理）の推進	・保管庫の整備 ・整理・整頓 ・記録・記録	・美味しまね認証（県版GAP）取得（3戸）	
	◇新規就農者の確保	・就農相談会の開催	・翔陽高校等での講義 ・翔陽高校で栽培実習・部会への加入 ・就農パッケージ作成（メロン＋トマト）と動画 ・相談会開催（地域内）	・翔陽高校で栽培実習 ・校外学習・インターンシップ受け入れ	
◇新規就農者の定着	・部会による支援（生産技術）	・栽培技術者でのサポート体制充実	・サポートチームによる支援（認定新規就農者） ・新規就農者の指導・相談	・部会員による産業体験者、研修者の受け入れ（2件）	
	・関係機関による支援（農業経営、補助事業）				
生産力強化	◇生産性向上	・出荷率の向上	・勉強会の開催（後継者のほほを重点的に見て回る） ・指導体制の強化（部会の栽培技術者上げ）	・栽培講習会の実施（アムス4/11,12、夏作アールス6/21、秋作アールス8/29） ・萎れ対策資材試験実施（アムス） ・積算温度を根拠とした収穫期調査（秋アールス）	
		・秀出率の向上			
	・省力化推進（スマート農業推進）	・みどりクラウドの活用（データ収集、農家技術開発）	・みどりクラウドによるデータ収集（アムス）		
	・優良品種検討	・比較試験の設置（部会役員）※継続	・夏作アールスにおける“AGR202”栽培試験（2戸）		
	・病害虫防除対策の徹底	・土壌診断（リン酸過剰）※ハウス毎のデータ蓄積：5年分 ・メロン専用肥料見直し検討および後作での施肥検討（肥料検討） ・防除層の改訂	・作付け前の土壌分析実施（1～2月） ・防除層改定（2月、6月） ・メロン後作におけるリン酸低減施肥体系の提案（9月）		
	・部活動の強化	・支那の活動強化 ・技術部の強化（検査部の強化）	・アールス栽培層作成・配布		
販売力強化	◇周年安定供給	・契約取引の強化	・消費者ニーズに即した玉サイズの生産 ・学校給食を通じた実習（保育園・小学校） （給食への提供2回/年：アムス、秋作アールス）	・学校給食への提供（アムスメロン・秋作アールスメロン各2回ずつ） ・GI制度登録申請準備	
	◇新たな販売方法	・新商品の検討 ・メロンファンの拡大	・販路開拓（※継続） ・産地ツアーの実施（※継続）	・夏作アールスメロンでの特秀2L規格の導入 ・セブンイレブンコンビニスイーツへのメロン出荷（販売店舗拡大）	

# GI（地理的表示）の取得

ますだ

# 益田アムスメロン

生産地: 島根県益田市  
登録団体: 益田アムスメロン振興協議会

農林水産大臣登録第162号



**特性**  
大玉で甘く、果汁が豊富なことに加え、果皮近くまで柔らかく可食部が多いことから、贈答用として人気があるほか、品質も安定しているため市場で高く評価されており、益田といえばアムスといわれるほど地域を代表する名産品となっている。

**地域との結び付き**  
日本海型気候の中でも温暖な地域で、果実の肥大・成熟期に日照時間が多く、高津川による豊富なかん水の水源とメロン栽培に適した砂壤土にも恵まれ、産地として発展した。新たな仕立て法をはじめ独自の栽培技術を確立するとともに、肥料メーカーと「益田アムスメロン」専用の肥料を共同開発。厳しい経営・労働環境から脱するため、様々な品目・品種を試行錯誤しアムスメロンに到達した地域一丸の取組が評価され、天皇杯を受賞したほか、地域の副読本にもなっている。

益田アムスメロン振興協議会 島根県益田市中古田町1000 (JALまね西いわみ地区本部営農センター内)  
※GI登録時現在の情報のため、詳細は農林水産省HPを参照。



# 終わりに

## ●生産性の向上

- ・基本技術の見直し
- ・栽培技術の向上
- ・省力化推進等

## ●部会活動の強化

- ・信頼・ブランド力の強化
- ・新規就農者の確保・育成等



ご清聴ありがとうございました

